

◎令和7年度横須賀市学力向上推進委員会の答申について

1 経緯

教育委員会では、児童生徒の確かな学力の定着を図るため、令和4年度から令和7年度までを計画期間とする「横須賀市学力向上推進プラン」を策定し、取り組んできました。

現行プランの成果と課題を踏まえ、令和8年度から令和11年度までの4か年を計画期間とする次期プランを策定するにあたり、学力向上推進委員会の専門的かつ幅広い知見から助言を得るため、令和7年7月23日に諮問しました。

2 検討経過

(1) 令和7年7月23日 第1回横須賀市学力向上推進委員会

教育委員会から推進委員会へ、次期プランにおいて目指すべき「学力」と、新たな重点目標及びその指標について諮問

(2) 令和7年9月9日 第2回横須賀市学力向上推進委員会

横須賀市が目指すべき「学力」及び重点目標について協議

(3) 令和7年10月28日 第3回横須賀市学力向上推進委員会

次期プランの進捗管理に相応しい指標について協議

(4) 令和7年12月8日 第4回横須賀市学力向上推進委員会

推進委員会から教育委員会へ答申

3 答申の概要

(1) 横須賀市が目指すべき「学力」について

「資質・能力ベース」の考えに基づいて捉えるとともに、横須賀市教育振興基本計画が掲げる「横須賀の目指す教育の姿」が示す資質・能力との関連を意識し、学校・家庭・地域が三位一体となって児童生徒の資質・能力を育成するものと捉える。

(2) 新たな重点目標の設定について

次期プランの重点目標は次に示す4つの方向性で設定する。

- ・ 共に学び合う集団の育成を図る
- ・ 粘り強く学ぶ力の育成を図る
- ・ 社会とつながる力の育成を図る
- ・ 生活や学びの土台となる力の育成を図る

(3) 次期プランの進捗管理に相応しい指標について

新たに掲げる4つの目標の到達度を測り、適切に進捗状況を管理するためには、全市的な質問調査を行い、児童生徒が学びに対してどのような意識を持っているのかを把握するとともに、従前どおり全国学力・学習状況調査における教科調査の結果と合わせて、非認知的な要素を含めた児童生徒の資質・能力が育成されているのかを多面的・多角的に分析できる指標を設定する。